



# の・び・の・び



## 子どもに多い感染症



病名	潜伏期間	症状	感染経路
インフルエンザ	1～3日	発熱(38℃以上)悪寒、頭痛、筋肉痛、倦怠感、咽頭痛、咳	飛沫
百日咳	6～15日	初期よりしつこい咳。熱はあまりなく、発作性の特有の咳がある	飛沫
麻疹(はしか)	9～11日	咳、目やに、高熱、口の中にコプリック斑。顔面～体幹、手足へ発疹	飛沫
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	12～15日	耳下腺が急に腫れる。痛みを伴う。髄膜炎、難聴を合併することもある	飛沫
風疹(三日ばしか)	14～21日	発熱と同時にバラ色の発疹が出現し、3日ほどで消える。リンパ腺の腫れ	飛沫
水痘(みずぼうそう)	10～21日	身体から首から顔面に発疹。紅斑、水疱、かさぶたの順に変化。発熱あり	飛沫・接触
咽頭結膜熱(プール熱)	5～7日	熱、咽頭痛、頭痛、食欲不振。目の充血、目の痛み、目やに(プールを介して)	飛沫
結核	2年以内	初期はほとんど自覚症状がなく気づきにくい。発熱、咳、倦怠感	主として飛沫
腸管出血性大腸菌感染症(O-157等)	3～8日	激しい腹痛、水様便から血便、下痢を伴う	経口
流行性角結膜炎(はやり目)	1～2週間	眼やに、流涙、瞼が腫れる、充血や白目に出血	接触
急性出血性結膜炎	1～2日	眼やに、流涙、瞼が腫れる、充血や白目に出血	接触
ヘルパンギーナ	2～5日	発熱、のどの痛み、口内の水疱	飛沫・接触(便)
手足口病	3～7日	発熱、手のひら、足、脚部、口の中に小さい水疱	飛沫・接触(便)
溶連菌感染症	2～7日	発熱、のどの腫れ・痛み、腹痛、鮮紅色の発疹、莓舌	飛沫
マイコプラズマ肺炎	1～3週間	ゆっくりとした風邪症状、しつこい乾いた咳、発熱、胸痛	飛沫
感染性胃腸炎(ノロウイルス等)	1～3日	嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、発熱などの胃腸炎症状	経口・飛沫
ロタウイルス	1～3日	冬から春にかけて多い。急に嘔吐や水様便が始まる。	経口
突発性発疹	8～14日	乳児が大半。高熱が3～4日続き、解熱後に発疹がでて終わる。	不明
伝染性紅斑(りんご病)	7～20日	風邪様の症状と顔面の紅斑、四肢にレース様の紅斑	飛沫
髄膜炎菌性髄膜炎	1～10日	発熱、頭痛、嘔吐など	飛沫

**接触感染とは**  
病気を発病している人や保菌者に接触して感染すること

**飛沫感染とは**  
くしゃみや咳などで飛び散った液等から感染すること

**空気感染とは**  
くしゃみや咳などで飛び出したウイルスが空気中に浮遊して感染すること

予防の基本は『手洗い』『うがい』です。小さい頃から、習慣づけをしましょう。  
 予防接種のある病気は、受けておくことも大事です。  
 感染症にかかった時は、お医者さんに子どもが集まるような場所に出掛けていい時期を確認する  
 といいですね。

